



日野市は2050年までにゼロカーボンの暮らしができる地域の実現を目指しています



第3回

2023年10月1日



第3回日野市気候市民会議 テーマ ～モビリティ（移動）～

日時 10月1日（日） 13：15～17：15

場所 日野市役所5階 505会議室

講師 井原 雄人氏（早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 電動車両研究所 研究院客員准教授）、日野自動車（株）、佐川急便（株）

内容 移動における脱炭素化への選択肢（井原氏）、事業者からの情報提供（日野自動車、佐川急便）、参加者によるグループワーク

参加者の感想・意見

●テーマについてのアイデア

車に乗らず、公共交通機関を利用促進。（企業の環境活動PRも兼ねて）EVを安価にしデザイン向上、比率を増やす（メンテナンスも安く）。地産地消の促進。EV購入の助成金。移動の手段を教えてくれるアプリ。三輪車や大型自転車のレンタル。相乗り交通サービス拡充（大型施設、町単位、子育てや高齢者別）。⇒**移動（人流）・物流の再考**
渋滞解消のインフラ整備。配達を「受け取れない」時間指定。再配達有料化や宅配ボックスの普及。配達段ボールを小さく。高齢者や子育て世帯は駅近へ。通販で運送会社の選択。都心に出ず「日野でもいいか」のまちづくり。坂道や段差の工夫。充電スタンドの拡充（マンションでも）。駐輪場や自転車・バスのレーン整備。⇒**インフラ・まちづくりの転換**
まとめ買いキャンペーン。健康ポイントや公共交通ポイント連携。⇒**行動変容の後押し**

●グループワークに関する感想

- ・日野市は東京だが、田舎に近い。地形や人口特性を環境と考え、住みよい街として自慢や先導ができる市にしたい。
- ・市民が取り組むには経済面の問題が大きい。環境問題の解決に向け、取り組めない人へのアプローチが重要。
- ・置配に否定的な意見に驚いた。40名でも逆の考えがあり、市全体だともっと意見がある。物事を決める難しさを痛感。
- ・車に乗る回数を減らして自転車や徒歩にしたり等、市民としてすぐに取り組める事が沢山ある。早速、実行している。

●会議の内容・運営に対する意見・提案・質問

- ・グループワークでの配慮に感謝します。今回は時間も長く例も事前の資料提供もあったので、今までで一番意見が出た。
- ・項目が多いと抽象的な意見で終わる。項目を減らした分、意見をまとめ、今後の具体策などを考える時間にあてたい。
- ・3回目になるので何となく方向性が見えてきた。まだ問題点はあるが、1つずつクリアして行けば更に良い会議になる。
- ・井原先生のお話しをもっと詳しく時間をかけて聞けたら良いなと思いました！



気候市民会議とは

地域の縮図となるよう無作為抽出された市民が、気候変動についてさまざまな情報を受けて熟議し、提言などを取りまとめる会議です。会議は、8月～12月に月1回開催し、政策提言を取りまとめていきます。



次回

11月5日（日） 13：45～
多摩動物公園 動物ホール

問い合わせ先：環境保全課

電話番号：042-514-8294 FAX:042-581-2516

Eメール：kankyo@city.hino.lg.jp